

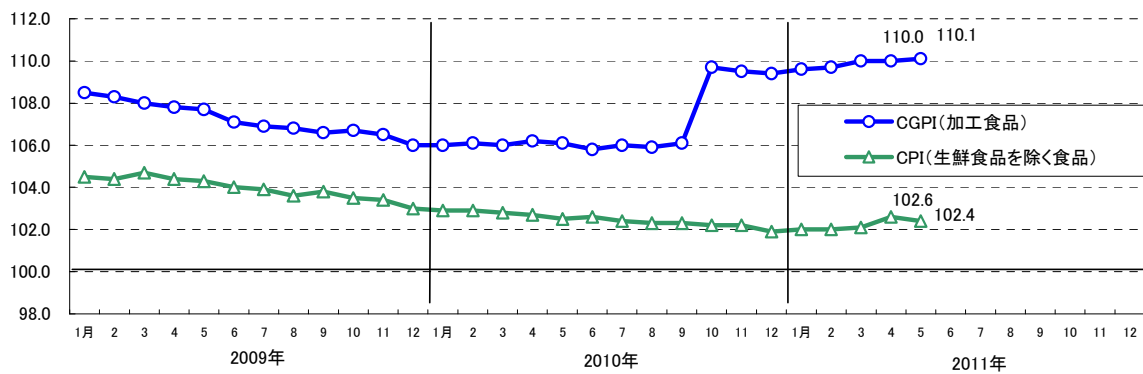
加工食品の物価及び生産・販売動向

1 加工食品の企業物価及び消費者物価の動向

消費者物価は低下から横ばい

加工食品の企業物価指数は、2010年10月から長期下落傾向が上昇に転じ、2011年5月は110.1で高水準を維持している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は102.4で、長期下落傾向にあったが、歯止めがかかっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



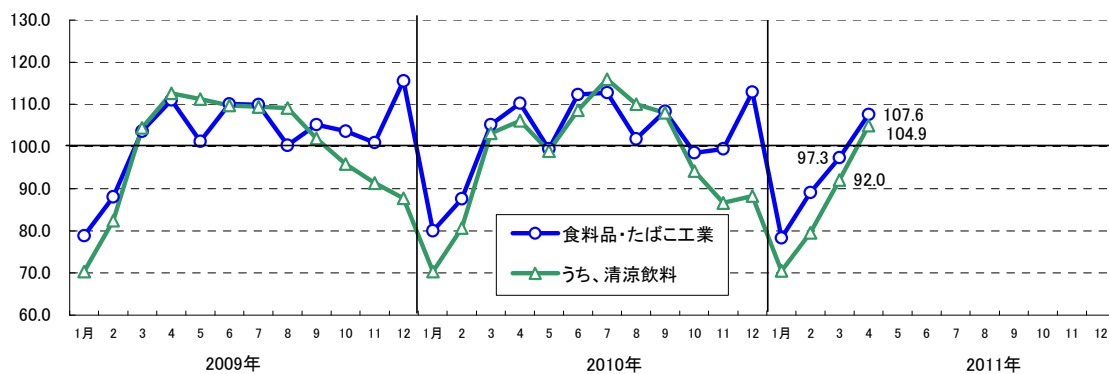
資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは対前年比で減少、うち、清涼飲料は減少

4月の食料品・たばこ工業の生産指数は、107.6で対前年同月比▲2.4%とわずかに減少した。うち、清涼飲料は104.9で対前年同月比▲1.1%とわずかに減少した。3月が震災の影響等によりそれぞれ▲7.5%、▲10.8%と大きく減少したものの、回復基調にある。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移



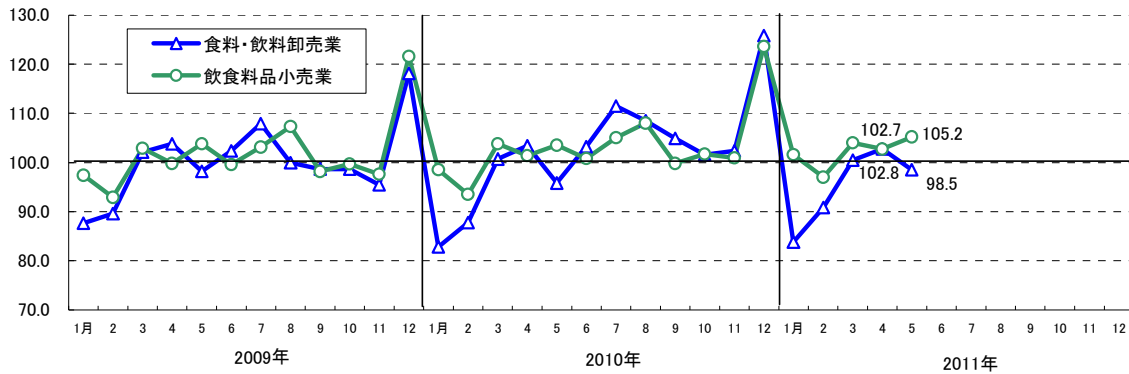
資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業及び小売業の販売額はそれぞれ増加

2011年5月の食料・飲料卸売業の販売額指数は98.5で対前年同月比2.8%とわずかに増加した。また、飲食料品小売業の販売額指数は105.2で1.6%とわずかに増加した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



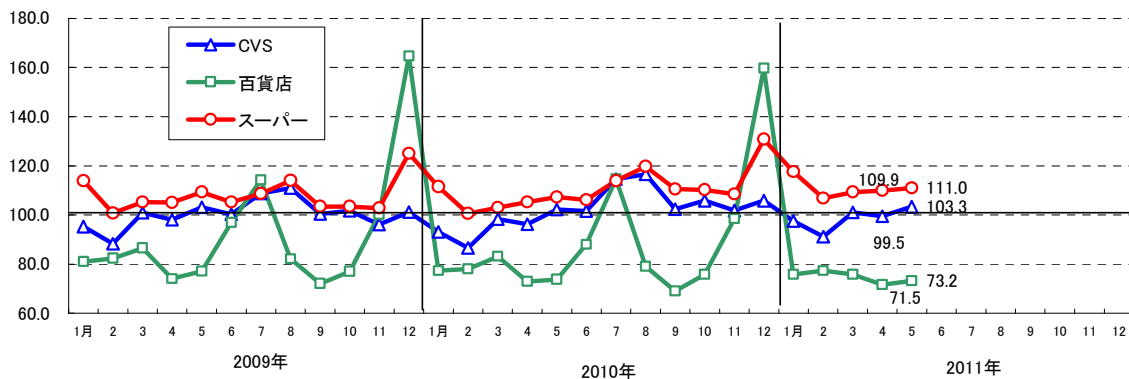
資料: 経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVS、スーパーは増加、百貨店は前年並み

2011年5月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは103.3で対前年同月比1.1%とわずかに増加した。また、スーパーは111.0で同3.5%とやや増加したものの、百貨店は73.2で同▲0.7%と前年並みになった。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料: 経済産業省「商業販売統計」

注: コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。